

川口・鳩ヶ谷市内小学生のアレルギー性疾患の 有病率と大気汚染の関係についての検討

出典	アレルギー(0021-4884)47巻11号 Page1190-1197(1998.11) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/1999091748)
著者	大山昇一 他
調査地域	埼玉県川口市・鳩ヶ谷市
調査時期	1996年
調査対象	小学生(6~12歳)
依頼数	29274人
有効回答数	25613人
有効回答率	87.5%
診断方法	自己申告(既往)
有症率	7.8%
調査概要	川口・鳩ヶ谷市内の小児のアレルギー性疾患(喘息、アトピー性皮膚炎、鼻炎、結膜炎)の有病率と大気汚染の関係についての検討した論文。 大気汚染物質(二酸化窒素、二酸化硫黄)と有病率に関連は認めなかった。